

科目名	メンズ実習Ⅲメンズパターンメイキング	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10 % 実習 90%
時間数	480	作成者	山路 俊美

【科目の到達目標】

プレタポルテのデザイン・パターン・カッティング・ソーイングの一貫した理論・知識と技術を習得

【科目の概要】

ファッション・デザイン物は高度な基本テクニックが伴って粋で高度な機能美を自らの手で作り上げる。  
アパレルの服作りに欠かす事のできない、創作デザインパターン・カッティング・ソーイングの一貫した理論・知識と技術を習得。

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1~4	紳士服関連説明・ポケット作り(パッチ・フラップ)手縫い(まつり・絡げ・千鳥・星)	121~124	ラグランコート製図・工業パターン・仮縫い
5~8	上襟作り(テーラー・ステン)	125~128	モーニングコート製図・工業パターン・仮縫い
9~12	ベスト製図・工業パターン・仮縫い	129~132	上田コレクション作品製図・工業パターン
13~16	プレタ展作品製図工業パターン	133~136	上田コレクション作品裁断・仮縫い・補正
17~20	プレタ展作品作り・裁断・仮縫い・補正	137~140	上田コレクション作品作り
21~24	プレタ展作品作り	141~144	上田コレクション作品作り
25~28	プレタ展作品作り	145~148	上田コレクション作品作り
29~32	プレタ展作品作り	149~152	上田コレクション作品作り
33~36	プレタ展作品作り	153~156	上田コレクション作品作り
37~40	プレタ展作品作り	157~160	上田コレクション作品作り
41~44	プレタ展作品作り	161~164	上田コレクション作品作り
45~48	プレタ展作品作り	165~168	上田コレクション作品作り
49~52	プレタ展作品作り	169~172	上田コレクション作品作り
53~56	プレタ展作品・衣裳合わせ・搬入準備	173~176	上田コレクション作品作り
57~60	プレタ展作品仕上り	177~180	上田コレクション作品作り
61~64	ジャケット製図・工業パターン・裁断	181~184	上田コレクション作品作り
65~68	テーラードジャケット作り(格子素材)	185~188	上田コレクション作品作り
69~72	テーラードジャケット作り(毛芯仕様)	189~192	上田コレクション作品作り
73~76	テーラードジャケット作り	193~196	上田コレクション作品作り
77~80	テーラードジャケット作り	197~200	上田コレクション作品作り
81~84	テーラードジャケット作り	201~204	上田コレクション作品作り・衣裳合わせ
85~88	テーラードジャケット作り	205~208	上田コレクション作品仕上り
89~92	テーラードジャケット作り	209~212	グレーディング(スラックス・ベスト)
93~96	テーラードジャケット作り		グレーディング(ジャケット・ブルゾン)
97~100	テーラードジャケット作り	213~216	グレーディング(ラグランコート)
101~104	テーラードジャケット仕上り	217~220	上田コレクション作品衣裳合わせ・搬入準備
105~108	ブルゾン製図工業パターン(革素材)	221~224	ピーコート製図・工業パターン・仮縫い
109~112	ブルゾン作り	225~228	ジャンプスーツ製図・工業パターン・仮縫い
113~116	ブルゾン作り	229~232	トレンチコート製図・工業パターン・仮縫い
117~120	ブルゾン作り(仕上り)	233~236	レディスジャケット製図・工業パターン・仮縫い
		237~240	ファンシーブルゾン製図・工業パターン・仮縫い

【成績評価方法】

課題作品(製図・工業パターン・仮縫い・実物作品)60%

理解力(期末テスト)30%

授業への取り組み態度 10%

【教科書・参考書】山路俊美著『図解紳士服製図・型紙の作り方』服飾手帖社発行

山路俊美著『図解紳士服(縫製)ジャケット・スラックス・ベスト・ブルゾンの作り方』等の資料

山路俊美著『図解紳士服ミン仮縫い(接着)ジャケット・スラックス・ベスト・ブルゾン・シャツ・ラグランの作り方』資料

【教材・教具】

製図道具一式

縫製道具一式

科目名	メンズ商品企画	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターメンズ専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	60	作成者	濱屋 但

【科目の到達目標】

ファッション業界の現状分析し、市場をとらえた商品企画を提案する。

【科目の概要】

1・2年次に学んだ基礎知識をもとに、新たな情報やトレンドなどをプラスして企画提案を行う。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	授業説明	16	企画制作
2	商品企画の基本ステップ	17	企画制作
3	MAP作成	18	まとめ
4	MAP作成	19	プレゼンテーション
5	マーケットリサーチ①	20	プレゼンテーション
6	マーケットリサーチ	21	まとめ
7	企画制作	22	テスト
8	企画制作	23	マーケットリサーチ③
9	企画制作	24	マーケットリサーチ
10	企画制作	25	マーケットリサーチ④
11	中間チェック	26	マーケットリサーチ
12	企画制作	27	マーケットリサーチ(年間まとめ)
13	企画制作	28	プレゼンテーションテーション
14	マーケットリサーチ②	29	まとめ
15	マーケットリサーチ	30	テスト

【成績評価方法】

課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%

【教科書・参考書】

スタイリングブック

【教材・教具】

筆記用具 着色用具 カラーカード ファッション雑誌 他

科目名	ファッションドローイングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	大槻 剛

**【科目の到達目標】**

1年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

**【科目の概要】**

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。制作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

**【授業計画**

90分/コマ

前期		後期	
1	ヌード、顔、ヘア、手足の復習	16	全国ファッション画コンクール
2	アナライズ	17	ファッションクロッキー
3	就職対策(画材表現)	18	早描き
4	就職対策(ポージング)	19	アイテム画表現
5	就職対策(着装とハンイラ)	20	アイテム画表現
6	プレタ展の作品表現	21	アクセサリー表現
7	プレタ展の作品表現	22	アクセサリー表現
8	就職対策(パターンからデザイン)	23	アクセサリー表現
9	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	24	トータルコーディネート表現
10	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	25	加工指図書用のデザイン画表現
11	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	26	加工指図書用のデザイン画表現
12	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	27	創作ドローイングⅠ
13	デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)	28	創作ドローイングⅠ
14	デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)	29	創作ドローイングⅡ
15	デザイン画選手権の作品製作 3(着色)	30	創作ドローイングⅡ

**【成績評価方法】**

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

**【教科書・参考書】**

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年  
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

**【教材・教具】**

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	ファッションデザイン論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	60	作成者	濱屋 但

**【科目の到達目標】**

授業メニューを通して、発想力・表現力・分析力・計画性などを身につける。

**【科目の概要】**

1・2年次に学んだ基礎知識をもとに、新たな情報やトレンド、発想などをプラスして表現する。

**【授業計画】**

90分/コマ		前期	後期
1	アパレル業界概要と就職指導	16	デザイン発想
2	コラボコンテスト	17	デザイン発想
3	コラボコンテスト	18	デザイン発想
4	プレゼンテーション	19	デザイン発想
5	コラボコンテスト	20	プレゼンテーション
6	コラボコンテスト	21	デザイン発想
7	プレゼンテーション	22	デザイン発想
8	外部コンテスト	23	プレゼンテーション
9	外部コンテスト	24	上田コレクション出品作品より
10	外部コンテスト	25	上田コレクション出品作品より
11	外部コンテスト	26	上田コレクション出品作品より
12	上田コレクションデザイン画	27	上田コレクション出品作品より
13	上田コレクションデザイン画	28	プレゼンテーション
14	デザイン画選手権	29	まとめ
15	まとめ	30	テスト

**【成績評価方法】**

課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%

**【教科書・参考書】**

スタイリングブック

**【教材・教具】**

筆記用具 着色用具 カラーカード ファッション雑誌 他

科目名	コンピューター演習Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

ホームページの作り方を習得し、就職や、卒業後の活動の際に作成できる基礎力をつける。  
イラストレーター・フォトショップの復習応用をしながら、名刺などのアイテムを作成する。

【科目の概要】

クオリティとスピードを要求されるエンターテインメントの世界において、スタートから具体的に出来上がりを伝える必要があると考える。基礎的な操作方法を固め、効率を考えた一連の知識や技術習得する。クライアントに自分の魅力が伝わり、作り手の思いや温度が伝わるポートフォリオやHPを作る。

【授業計画】 90分/コマ		前期	【授業計画】 90分/コマ	後期
1			31	
2		アパレル業界概要と就職指導	32	エクセル基本操作
3		PC演習復習①	33	エクセル表計算①
4		PC演習復習②	34	原価計算
5			35	エクセル表計算②
6			36	原価計算応用
7			37	
8		就活先に合わせたポートフォリオ制作 アパレル企画	38	PCでスタイル画①
9			39	
10			40	
11			41	
12			42	PCでスタイル画②
13		43		
14		44		
15			45	イラストレーション
16		就活先に合わせたポートフォリオ制作 個人作品	46	
17			47	
18			48	
19			49	
20			50	
21			51	ファッションマガジン
22		52		
23		53		
24		OEM企画	54	
25		OEM企画	55	プロモーション
26			56	
27		プレゼンテーション	57	
28		復習とまとめ	58	
29		前期末テスト	59	前期末テスト
30			60	

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

パソコン

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 % 実習 0 %
時間数	30	作成者	相馬成男
【科目の到達目標】専門学校では注文服(オートクチュール)作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服(プレタポルテ)が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を旨とする。			
【科目の概要】国内繊維産業は長年の厳しい国際競争の中で、①高機能・高性能繊維、②高品質・高感性の素材、③精緻な縫製技術の3点が強みとしてあげられているが、衣料品の輸出は先進国の中で極めて少ない。一方で持続可能な開発目標(SDGs)達成が掲げられており、これら現状認識をしながら、アパレル企業が行う技術的業務の基礎知識をテキスト、パワーポイント及び動画と適宜配布資料を用いて講義を進める。			
【授業計画 90分/コマ	前期	後期	
		第1週	第1章 アパレル産業の歴史と変遷 第11章 世界と日本の繊維生産
		第2週	第2章 アパレル製品の商品企画
		第3週	第3章 アパレル製品の副資材 - 1
		第4週	第3章 アパレル製品の副資材 - 2
		第5週	各論 第3章 スポーツウエア
		第6週	第4章 アパレル製品用材料の 試験と検査
		第7週	第5章 アパレル製品の縫製 と二次加工
		第8週	各論 第4章 下着(インナーウエア) 各論 第5章 靴下
		第9週	第6章 アパレル製品の検査 と品質管理
		第10週	第7章 アパレル製品の安全・安心
		第11週	各論 第1章 紳士服 - 1
		第12週	第8章 アパレルの表示と関連法規
		第13週	第9章 アパレル製品の洗濯 とメンテナンス
		第14週	各論 第1章 紳士服 - 2 各論 第2章 婦人服
		第15週	第10章 アパレル製品の品質管理 と消費者対応
【成績評価方法】 毎回講義後の課題(宿題)の評価:50%、期末試験:40%、授業態度:10%			
【教科書・参考書】 編集:一社団法人 日本繊維技術士センター、『業界マイスターに学ぶ「アパレルの基礎知識」』、 発行所:金壽堂出版有限公司、発行日:2020年7月3日			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	高瀬博文

【科目の到達目標】

主として近世(ルネサンス)から現代美術に至る知識を獲得し、これまでの流れを踏まえ、その先端としての創作ができる人材を育成する。

【科目の概要】

初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。また二回に一回(30分程度)4~5人である作品について考え結論を出すというグループワークを行う。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 初期ルネサンス美術1: マザッチョ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ボッティチェリなど
- 2 初期ルネサンス美術2: ルネサンス美術の特徴、遠近法(透視図法)とはなにか
- 3 盛期ルネサンス1: レオナルド・ダ・ヴィンチについて
- 4 盛期ルネサンス2: ミケランジェロ、ラファエロなど
- 5 マニエリスム美術: ティントレット、ブロンズイーノなど
- 6 バロック美術: ヴェルフリンによるバロック美術解釈、ルーベンス、ベラスケスなど
- 7 ロココ美術: ロココの特徴、ヴァトー、フラゴナールなど
- 8 19世紀の美術1: 新古典主義、ロマン主義
- 9 19世紀の美術2: レアリスム、マネの作品、印象主義
- 10 19世紀の美術3: 後期印象主義、世紀末美術
- 11 古代~中世の美術1
- 12 古代~中世の美術2
- 13 20世紀の美術1: キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスムなど
- 14 20世紀の美術2: 第二次世界大戦後の美術
- 15 全体のまとめ、テスト問題の傾向

【成績評価方法】

平常点(演習問題、グループワーク、授業態度など)50%、テスト(期末一回)50%で評価を行う

【教材・教具】

教科書: 千足伸行監修 『新西洋美術史』(西村書店)

【教材・教具】